

第64回群馬県商工会議所議員大会開催 6項目の大会スローガンを決議

第64回群馬県商工会議所議員大会が9月7日（木）、美喜仁桐生文化会館にて開催された。

大会では、金子連合会長の挨拶に続き、関東経済産業局表彰、連合会長表彰等の授与が行われた。

大会スローガンとして、①事業再構築や創業、DX等による新たな価値創出と適正な価格転嫁への取組を強力に推進しよう②「自己変革力」を発揮して挑戦する事業者を、経営力再構築伴走支援で強力にサポートしよう③ビヨンドコロナに適応した観光戦略や、地場産品等の開発・活用により、街に活気と賑いを取り戻そう④2050年カーボンニュートラルの実現に向け、脱炭素時代に相応しいエネルギーミックスを目指そう⑤収益力向上による持続的な賃上げ原資の確保と計画的な人材育成により、多様な人材の確保・定着を図ろう



（▲ 議員大会の様子）

⑥成長基盤を支えるネットワークの構築を図るとともに、地域連携の主体として地域創生を強力に推進しよう—の6項目を決議した。

県商工会議所連合会長表彰では、当所から次の皆さんが表彰された。

敬称略

▽永年勤続10年＝阿部昌巳（常議員）

▽永年勤続職員30年＝相場 勉、川島秀和

▽物故者＝正田宏二（顧問・元会頭）

正副会頭・部会長・委員長会議開催

「地元企業の人材確保に向けた支援策の充実」など市への要望を協議

当所では9月5日（火）、商工会議所にて「正副会頭・部会長・委員長会議」を開催し、館林市への要望事項について協議を行った。

協議された要望事項（案）は、創業対策と事業承継対策の充実、人口増加施策に係る情報発信の強化、地元企業の人材確保に向けた支援策の充実、原材料・エネルギー価格の高騰等への支援、商店街振興対策の充実、コロナ融資返済を見据えた資金繰り支援、里沼め

ぐり循環バス運行の促進と関連観光の活用、フィルムコミッション設立、東北自動車道館林インターチェンジへの接続道路整備などの9項目。

今回取りまとめられた要望書は、9月6日より開催された各部会で再精査され、今月末に館林市長へ提出される。

要望の内容は11月号の「商工たてばやし」に掲載する予定。

館林金属工業団地組合 創立50周年記念 ハイブリッド発電機完成披露式開催

館林金属工業団地協同組合では、9月13日（水）創立50周年を記念して製作された、ハイブリッド発電機の完成披露式を行った。風力と太陽光を組み合わせで発電をし、発電機に内蔵されているバッテリーへ電力を貯める仕組み。組合に所属する企業が、それぞれの強みを活かして作成した。

式では、同組合の鈴木理事長（㈱岡田製作所社長）、多田記念事業実行委員長（㈱誠和製作所社長）のあいさつの後、点灯式を行った。

発電機は組合事務所敷地に設置され、発電した電力を



（▲ 鈴木理事長と多田委員長による点灯式の様子）

携帯電話やWi-fi 中継器の給電することで災害時等にも活用していくとのこと。